



分ければ資源 混ぜればごみ

広見地区で分別収集始める

ごみのリサイクルって聞いたことがありますか……そうです。ごみを再利用するということです。

私たちが、毎日何気なく捨てている物の中には、まだまだ使える物がたくさん入っています。

資源となり得るものでも混ぜてしまえばただのごみです。再利用するには、まず、ごみを区分しなければなりません。

広見地区では、このごみを再利用できるものと、できないものに分けて出す分別収集を11月1日から自主的に始めました。



こんなに埋めていたんです

せめて広見地区だけでもごみを減らし、物の命を大切にし、くり返し活かして使おうと今回始めた分別収集とは……。

今までは、不燃物として出していた空缶や、空びん類を各家庭で他のごみと区分けしておきます。

収集は、地区を4つに分けて、毎週1地区づつ日曜日に集積場所に出します。

缶類は、アルミ缶と鉄缶に区別し、びんは、生びん（そのままでお金に替えられるびん）と、死びんに区別します。

これを資源回収業者に売却しているわけです。

グループ訪問④

明るさを家庭に持ち帰り…

吉永軽体操クラブ

会場の吉永公民館では、レコード音楽に合わせて軽やかな(?)準備運動がはじまっていました。廊下にはみ出しているランニングです。メンバーは20代から40代までの主婦を中心に全員で35人。毎土曜日の午前中が練習日とのこと。

「楽しみながら汗をかくこと」をモットーにしている指導者の稲葉敬子さん（37歳）の合図で、輪になって歌をうたいながらのリズム運動がはじまりました。

誰かの軽口でワッと会場がわきます。

「肩こりがなくなった、頭痛もちがなおった。という



音楽に合わせてリズム運動

会員が多いです。明るくてとっても楽しい。家庭の主婦にとって精神衛生にもいいんですよ。」

リーダーの斉藤きみ子さん（30歳）は、はずむ声で話してくれました。 連絡先 ☎34-1150（斉藤宅）